

令和5年度 足立東高等学校 学校評価アンケート 結果分析

I 回収率(令和5年12月31日時点、在籍生徒・保護者対象)

生徒：1学年：86.2%(156名/181名) 2学年：56.0%(92名/162名) 3学年：92.3%(96名/104名)
 教員：97.9%(46名/47名)、保護者：15.9%(71名/447名)
 地域：55.9%(19名/34名) 地域：学校運営協議会委員9名、体験施設11名、特別専門講師14名 合計34名

II 分析 ※【よくあてはまる】と【ややあてはまる】の合計=YES

1 教育活動と学校生活の意識・満足度

		《教育活動の周知》 質問項目(教職員Q1、生徒Q1、保護者Q1、地域Q1)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	学校経営計画に基づき、組織的に教育活動をしている。		98%
	生徒	学校のきまりや方針を知っている。		91%
関係者評価	保護者	学校のきまりや方針を知っている。保護者に周知されている。		88%
	地域	学校のきまりや方針を知っている。		52%

		《広報活動》 質問項目(教職員Q14、生徒Q15、保護者Q14、地域Q5)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	ホームページ等による広報活動に積極的に取り組んでいる。		96%
	生徒	学校は、ホームページ等による広報活動に積極的に取り組んでいる。		77%
関係者評価	保護者	学校は、ホームページ等による広報活動に積極的に取り組んでいる。		75%
	地域	ホームページ、正門脇の掲示板、地域の掲示板等で本校の情報を知っている。		74%

		《学校生活の充実》 質問項目(教職員Q13、生徒Q13、保護者Q12)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	生徒は、充実した学校生活をおくっている。		98%
	生徒	充実した学校生活をおくっている。	89%	89%
関係者評価	保護者	子どもは、充実した学校生活をおくっている。	79%	88%
	地域	本校の生徒は、落ち着いた学校生活を送っていると感じる。	70%	

		《入学》 質問項目(生徒Q14、保護者Q13.)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	生徒は足立東高校に入学してよかったと思っているか。	94%	
	生徒	足立東高校に入学してよかった。	84%	85%
関係者評価	保護者	子どもが、足立東高校に入学してよかった。	89%	93%
	地域			

【分析】

《教育活動の周知》85%以上の教職員・生徒・保護者が、学校方針を知っているが地域は52%である。広報活動の地域では、74%が本校の情報(体育祭等の行事や部活動による講演など)を知っているが、本校の教育方針や決まりについて知らない結果となった。学校案内の配布や地域の回覧をとおして、学校経営方針の周知を図る。

《広報活動》96%の教職員に対して、生徒・保護者・地域が80%以下である。ホームページやX(旧:Twitter)などから、本校の情報が得られること周知する。また周知するための仕組みを構築する。

《学校生活の充実》85%以上の教職員・生徒・保護者が充実していると回答している。引き続き、授業に対する満足度の数値を向上させ、学校生活の充実を図る。

《入学》85%以上の生徒・保護者が入学してよかったと回答している。引き続き、100%に近づけるよう、授業や部活動の充実を図る。

《総括》①学校活動や連絡を周知・徹底することが重要となる。ホームページ以外にも、保護者の携帯電話等に、配布物や万が一の発災時の対応について、メールで周知できるシステムを検討する必要がある。②肖像権の問題はあるが、学校行事の動画配信をも検討する必要がある。③メールのシステムの構築と合わせて、防災に対する取組と防災協定などを周知する必要がある。

2 授業に対する満足度

		《授業について》 質問項目(教職員Q2、生徒Q2)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教員	わかりやすい授業のために、教材の工夫やICT機器を取り入れている。	100%	96%
	生徒	先生の授業は、教材や教え方に工夫していて分かりやすい。	89%	92%
関係者評価	保護者			
	地域			

		《学力向上について》 質問項目(教職員Q3、生徒Q3、保護者Q2)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教員	習熟度別授業や30分授業は、生徒の学力向上に役立っている。	85%	98%
	生徒	習熟度別授業や30分授業で、学力が向上していると思う。	88%	88%
関係者評価	保護者	習熟度別授業や30分授業で、子どもの学力が向上していると思う。	80%	85%
	地域			

		《スタディガイダンスについて》 質問項目(教職員Q4、生徒Q4、保護者Q3)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教員	スタディガイダンスは、生徒の学び直しに役立っている。		76%
	生徒	スタディガイダンスは、学び直しに役立っている。		84%
関係者評価	保護者	スタディガイダンスは、子どもの学び直しに役立っている。		80%
	地域			

		《体験学習について》 質問項目(教職員Q5、生徒Q5、保護者Q4)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教員	生徒は、体験学習の授業に積極的に取り組んでいる。	97%	96%
	生徒	体験学習の授業に、積極的に取り組んでいる。	88%	94%
関係者評価	保護者	子どもは、体験学習の授業に積極的に取り組んでいる。	72%	88%
	地域			

【分析】

《授業》90%以上の教職員と生徒が、授業や教材の工夫に対して、わかりやすいと回答している。100%になるよう、引き続き、生徒がわかりやすいと実感できるように授業改善に取り組んでいきたい。

《学力向上》80%を超える教職員・生徒・保護者が、役立っていると答えている。引き続き、習熟度別授業や30分授業の充実や指導を徹底していきたい。

《スタディガイダンス》80%の生徒と保護者が役立っていると回答しているが教職員は76%である。基礎力診断テストの結果により、教職員の数値が変動すると推測できる。マナトレを活用した学力向上策を計画・実施していきたい。

《体験学習》85%を超える教職員・生徒・保護者が、積極的に取り組んでいると回答している。体験学習は、エンカレッジスクールの大きな特徴である。キャリア教育と結びつけた指導をホームページなどで、情報発信で理解推進していきたい。

《総括》生徒がわかる授業と教員の授業力向上について、校内の研修と校外の研修を充実させる必要がある。

3 生活指導に関する意識・満足度

		《行事》 質問項目(教職員Q6、生徒Q6、保護者Q5、地域Q2)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	生徒は、体育祭、文化祭等の学校行事に積極的に取り組んでいる。		98%
	生徒	体育祭、文化祭等の学校行事に積極的に取り組んでいる。	90%	92%
関係者評価	保護者	子どもは、学校行事(体育祭・文化祭等)を楽しみにしている。	75%	79%
	地域	本校は、体育祭、文化祭等の学校行事が盛んに行われている。		74%

		《校則》 質問項目(教職員Q7、生徒Q7、保護者Q6、地域Q3)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	生徒は、生活指導のきまりを守っている。		83%
	生徒	生活指導のきまりを守っている。		95%
関係者評価	保護者	子どもは、生活指導のきまりを守っている。		91%
	地域	本校の生徒は、落ち着いて学校生活を送っている。		84%

		《いじめ》 質問項目(教職員Q8、生徒Q8、保護者Q7)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	いじめの未然防止に努めている。		98%
	生徒	学校は、いじめを許さない取組を行っている。		86%
関係者評価	保護者	子どもに、いじめを許さない声かけをしている。		95%
	地域			

〔分析〕

《行事》90%を超える教職員・生徒が積極的に取り組んでいる。しかし、保護者・地域は80%以下の数値である。広報活動との数値と連動していることから、広報活動の充実させることが重要である。

《校則》80%を超える教職員・生徒・保護者・地域がきまりを守っている。しかし生徒の自由意見欄では、校則に関わる疑義の意見が多い。校則の徹底と生徒理解を促すことが大切である。

《いじめ》85%を超える教職員・生徒・保護者がいじめを許さない取組をしていると回答している。引き続き、生徒アンケートの実施をとおしていじめを許さない取組を実施していく。

《総括》学校行事をととした広報活動を進める。校則を踏まえた指導について、教員と生徒に周知・共有化する。

4 進路指導に対する意識・満足度

		《話し合い》 質問項目(教職員Q9、生徒Q9、保護者Q8)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	進路実現に向けて、生徒や保護者と話し合い、生徒の希望や適性を生かしている。		100%
	生徒	先生や保護者と、進路(将来)について話している。		86%
関係者評価	保護者	家庭で、子どもと進路(将来)について話している。		93%
	地域			

		《キャリアガイダンス》 質問項目(教職員Q10、生徒Q10、保護者Q9)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	キャリアガイダンスは、進路決定に役に立っている。		96%
	生徒	キャリアガイダンスは、進路決定に役に立っている。	87%	89%
関係者評価	保護者	キャリアガイダンスは、進路決定に役に立っている。		79%
	地域			

〔分析〕

《話し合い》85%以上の教職員・生徒・保護者が、進路(将来)について話し合っている。引き続き、適宜、二者面談や三者面談を実施し、生徒本人の進路意識を熟成させ、家庭と連携した進路決定を進めていく。

《キャリアガイダンス》85%以上の教職員・生徒が役立っていると回答している。しかし、保護者の回答が79%にとどまっている。また保護者の14%がわからないと回答している。キャリアガイダンスの授業を保護者に公開するなど、取組を周知する必要がある。

5 健康・環境に対する意識・満足度

		《美化》質問項目(教職員Q11、生徒Q11、保護者Q10、地域Q4)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	学校の施設の整備や校内外の美化は行き届いている。		68%
	生徒	学校の施設の整備や校内外の美化は行き届いている。		72%
関係者評価	保護者	学校の施設の整備や校内外の美化は行き届いている。		66%
	地域	学校の施設の整備や校内外の美化は行き届いている。		69%

		《相談》質問項目(教職員Q12、生徒Q12、保護者Q11)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	悩みや不安について生徒の相談に気軽に乗っている。		100%
	生徒	悩みや不安について気軽に相談できる先生がいる。	76%	75%
関係者評価	保護者	子どもには、悩みや不安について気軽に相談できる先生がいる。		65%
	地域			

【分析】

《美化》教職員・生徒・保護者・地域のすべてにおいて、75%以下です。開校して48年目を迎える大規模改修をしておらず、施設の老朽化は否めない。トイレを含めて、環境整備を徹底していく。

《相談》教職員が100%に対して、生徒・保護者が75%以下の回答であった。YSWや外部機関と連携を充実させて、相談しやすい学校を目指していく。

《総括》学校評価アンケートや学校見学会のアンケート等の外部アンケートを根拠にして、東京都に対して施設改善の強く要望をしていく。

6 その他

		《働き方改革》質問項目(教職員Q15)	YES	
			令和4	令和5
自己評価	教職員	学校は、働き方改革の実現に向けて取り組んでいる。		63%

【分析】

東京都の働き方改革を念頭に、教職員が働しやすい環境を整えていく。また、ライフワークバランスの推進を具体的に進める必要がある。